

1 市政評価について

大仙市では、市民の皆さんの評価や意見を伺い、今後の市政運営や協働のまちづくりを進めるため、「市民による市政評価」を平成18年度から継続的に実施してきました。

平成28年度からは、個別事業に関する評価や意見を調査する「市民による個別事業評価」を実施し、市民目線に立った効率的で効果的な事業実施に努めてきたところです。

今年度は、個別事業評価を広く市民の皆さんを対象とする調査と、利用者の生の声を伺うため、制度の利用者など特定の層を対象とする調査に区分し、前者を市政評価に組み込み実施しました。

2 調査の種別

（1）市政評価

第2次大仙市総合計画基本構想に示している体系（「施策の柱」「施策の大綱」）に基づき設定した設問項目（施策）について、「満足度」と「重要度」、「今後さらに推進すべき取り組み」を調査した。また、「大仙市の住みやすさ」に関する意識調査も行った。

（2）個別事業評価

施策に基づき実施されている次の6事業について、認知度、利用度、意識等を調査した。

①A事業：市民全体を対象とする調査

- 1) 広報活動について
- 2) コミュニティFMについて
- 3) 敬老の日事業について
- 4) 住宅リフォーム支援事業について

②B事業：制度の利用者など特定の層を対象とする調査

- 1) 母子保健事業
- 2) 成人保健事業（がん検診）

3 実施方法

市政評価、個別事業評価とも次の方法により実施した。

（1）手 法： 郵送アンケート（無記名回答）方式

（2）期 間・ 平成30年6月1日（金）～6月22日（金）（22日間）

4 調査対象

(1) 市政評価

市内在住で18歳以上85歳未満の方の中から無作為（性別、年齢、地域等については考慮）に抽出した市民1,000人。

(2) 個別事業評価

①A事業 (1) 市政評価と同じ対象者

②B事業

1) 母子保健事業

「母子保健事業」の対象となる、市内在住の「0歳児（H29.4.1～H30.3.31生れ）」「1歳児（H28.4.1～H29.3.31生れ）」「2歳児（H27.4.1～H28.3.31）」の母親から、無作為に抽出した300人。

2) 成人保健事業（がん検診）

「成人保健事業（がん検診）」の対象となる、平成27年度及び平成28年度事業により配布した「胃がん検診無料クーポン券」、「大腸がん検診無料クーポン券」でいずれかのクーポン券によりがん検診を受診した市内在住の309人。

5 回収数・回収率

調査票	送付数	回収数	回収率
市政評価・個別事業評価（A事業）	1,000人	560人	56.0%
個別事業評価（B事業）「母子保健事業」	300人	220人	73.3%
個別事業評価（B事業）「成人保健事業」	309人	203人	61.7%

[参考] 3調査合計

調査票総送付数 1,609人 回収総数 983人 平均回収率 61.1%

6 施策に対する評価 調査結果の概要

(1) 満足度及び重要度について

〈満足の度合い〉

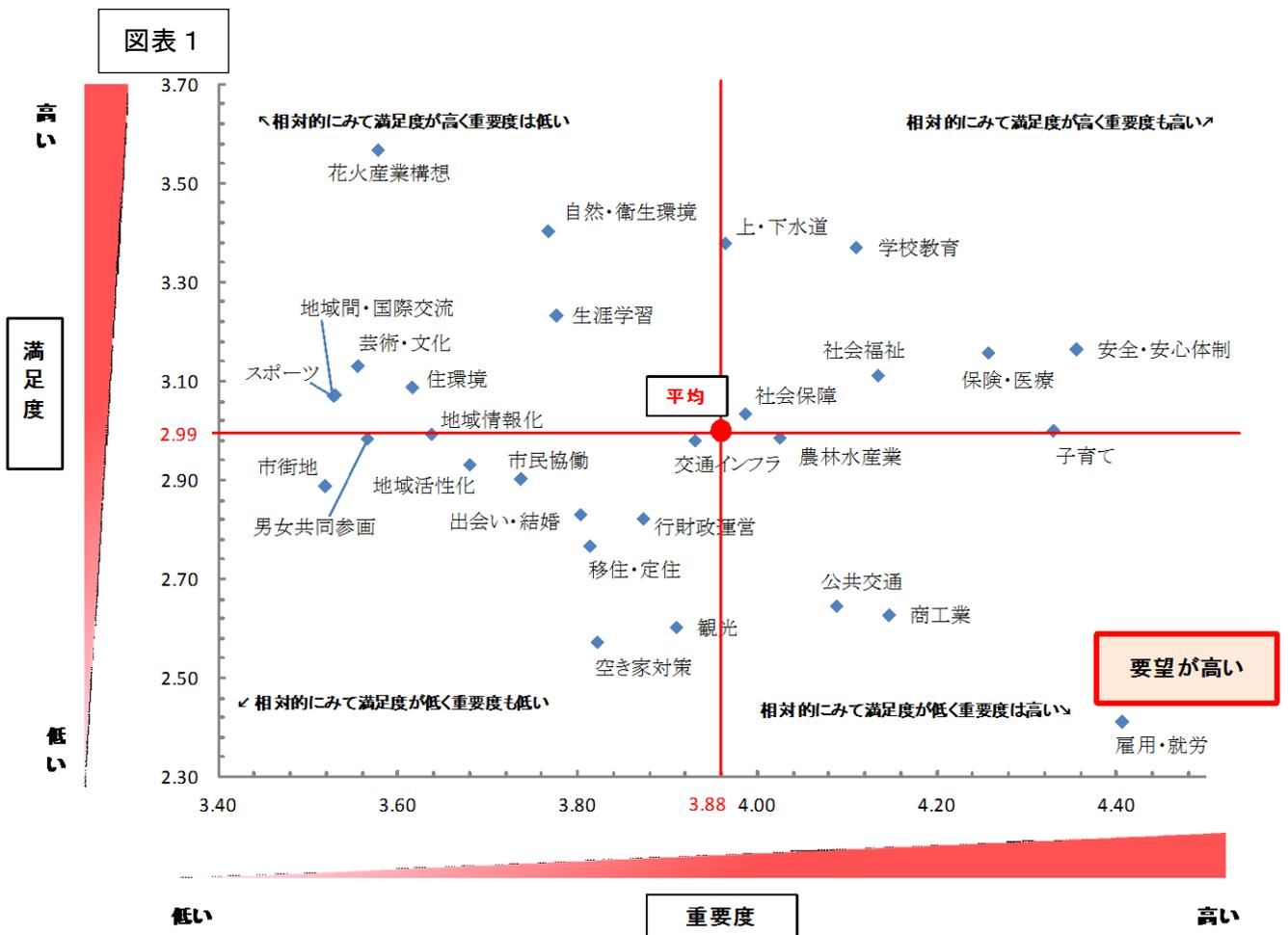
- ⇒満足度の上位項目は「花火産業構想」、「自然・衛生環境」、「上・下水道」の順となっており、下位項目は「雇用・就労」、「空き家対策」、「観光」の順となっている。
- ⇒昨年度と比較すると、全体的に小幅な変動があるものの、上位、下位の概ね 10 項目に昨年度と大きな変化は見られない。

〈重要の度合い〉

- ⇒重要度の上位項目は「雇用・就労」、「安全・安心体制」、「子育て」の順となっており、下位項目は「市街地」、「スポーツ」、「地域間・国際交流」の順となっている。
- ⇒昨年度と比較すると、昨年度上位だった項目が減少する中で、「安全・安心体制」のみ増加していることから、「安全・安心体制」の順位が上昇している。

〈要望が高い施策〉

- ⇒相対的に見て、要望が高い（重要度は高いが満足度は低い）施策は、「雇用・就労」、「商工業」、「公共交通」となっている。（図表 1）



(2) 今後、さらに推進すべき取り組みについて

今後さらに推進すべき取り組みとして、各分野で回答数が多い上位3項目は次のとおり。

分野	順位	取り組み内容	回答数
産業分野	1	雇用・就労への支援	367
	2	農業の担い手確保、育成	330
	3	若者の起業支援	277
出会い・結婚・子育て分野	1	子育てに関わる経済的負担の軽減	307
	2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	299
	3	子育て支援サービスの充実	264
健康福祉・スポーツ分野	1	介護サービス基盤等の整備	245
	2	地域医療体制の整備	239
	3	からだの健康づくりの推進	223
環境・安全分野	1	除排雪体制の充実	374
	2	水害対策設備の整備	240
	3	空き家の管理と利活用の推進	235
都市基盤分野	1	生活道路の整備	292
	2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	235
	3	主要道路網・幹線道路の整備促進	177
教育・交流分野	1	生きる力を育む学校教育の推進	288
	2	学校と地域の交流・連携	198
	3	学校施設の整備	153
地域活性化・市民との協働・行政運営分野	1	若者が活躍できる環境づくり	330
	2	小規模集落・高齢化集落への支援	216
	3	移住・定住への支援	195

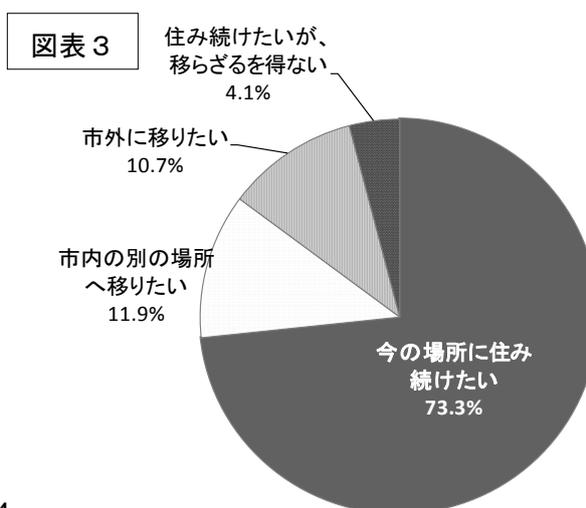
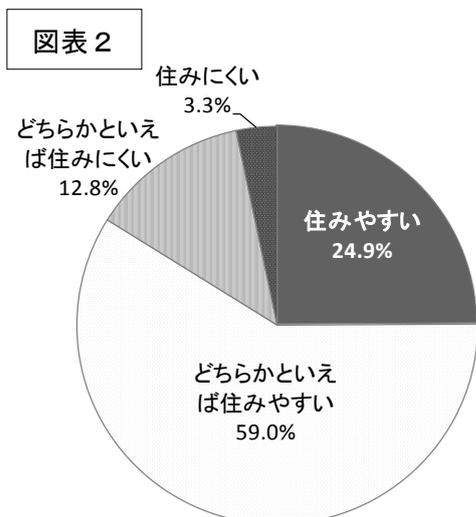
(3) 大仙市の住みやすさについて

〈大仙市は住みやすいか〉

⇒「住みやすい」または「どちらかといえば住みやすい」と回答した人の割合を合わせると、83.9%で、8割以上を占めている。(図表2)

〈大仙市に住み続けたいか〉

⇒「今の場所に住み続けたい」と回答した人の割合は73.3%で、7割以上を占めている。(図表3)

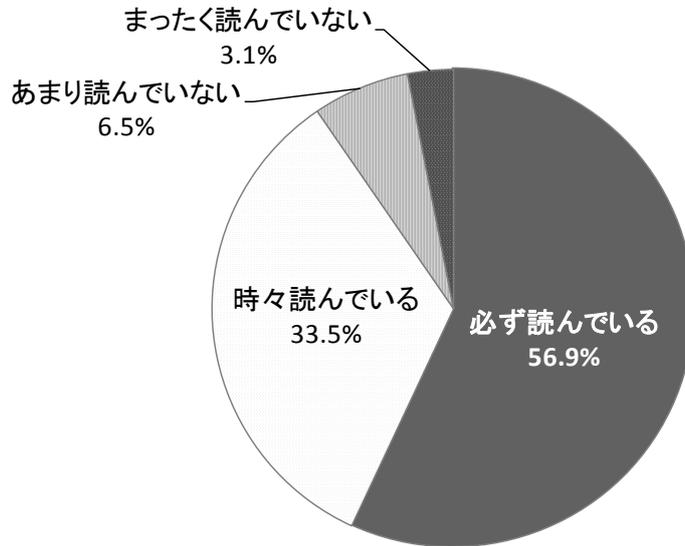


7 個別事業に対する評価 調査結果の概要（抜粋）

（1）市の広報活動について

〈市の広報紙「だいせん日和」を読んでいますか〉

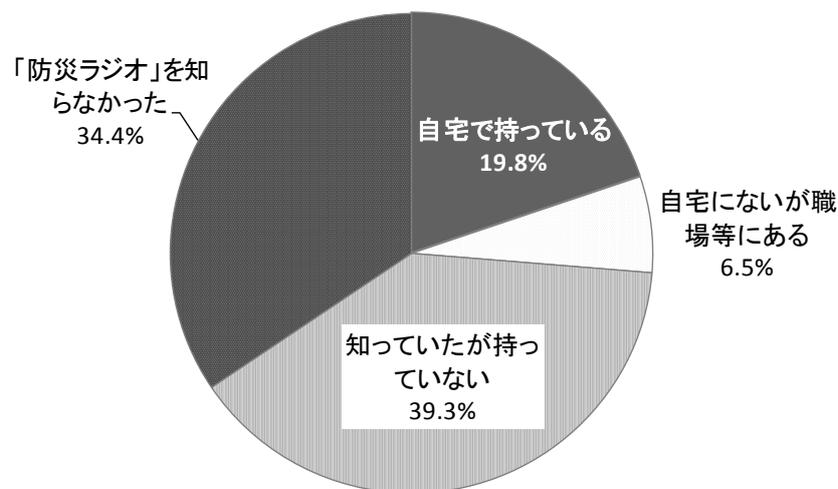
⇒「必ず読んでいる」が最も多く 56.9%、次に多かったのは「時々読んでいる」で 33.5% となっており、合わせて9割以上の方が広報を読んでいる。



（2）コミュニティFM（FMはなび）の利用について

〈「防災ラジオ（非常時、自動的に電源が入り緊急放送が流れる）」を持っていますか〉

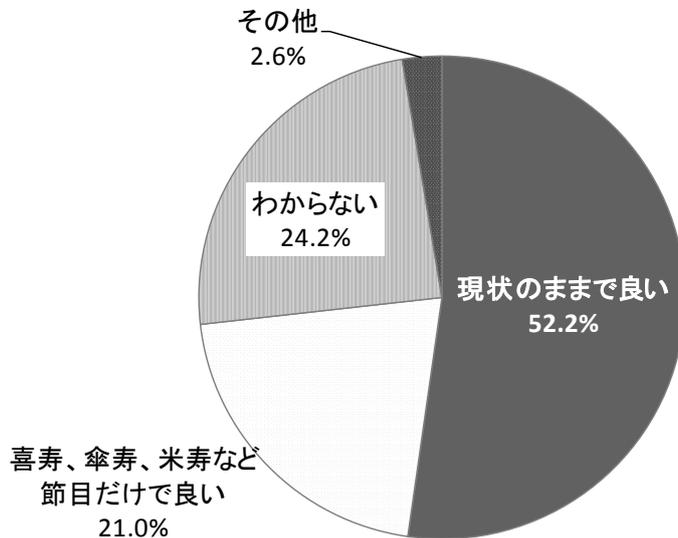
⇒「知っていたが持っていない」が最も多く 39.9%、次に多かったのは「防災ラジオを知らなかった」で 34.4%となっている。自宅、職場のいずれかに防災ラジオがある方は4分の1、持っていない、知らなかったという、防災ラジオが身近にない方が4分の3となっている。



(3) 敬老の日事業について

〈敬老会は現在 76 歳以上の方全員を対象に実施しています。これについてどう思いますか〉

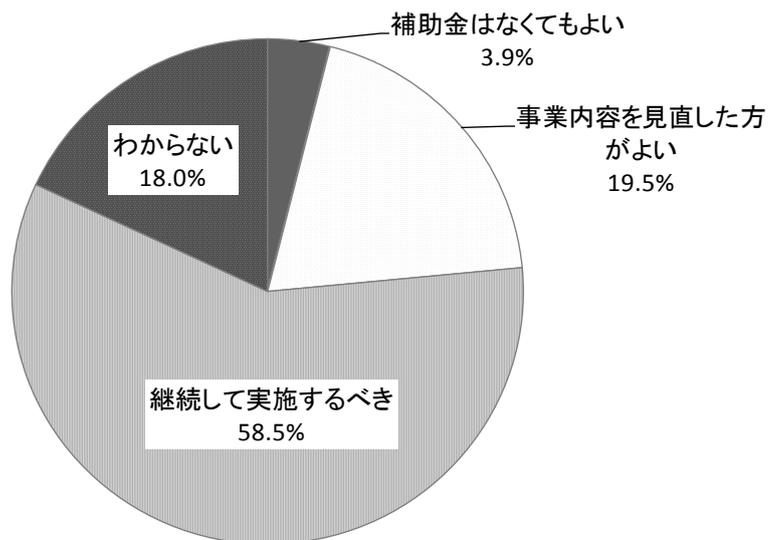
⇒「現状のままで良い」が最も多く 52.2%、「わからない」が 24.2%で次に多く、「喜寿、傘寿、米寿など節目だけで良い」が三番目に多く 21.0%となっている。



(4) 住宅リフォーム支援事業について

〈リフォーム工事に対する市の補助金について、どのようにお考えですか〉

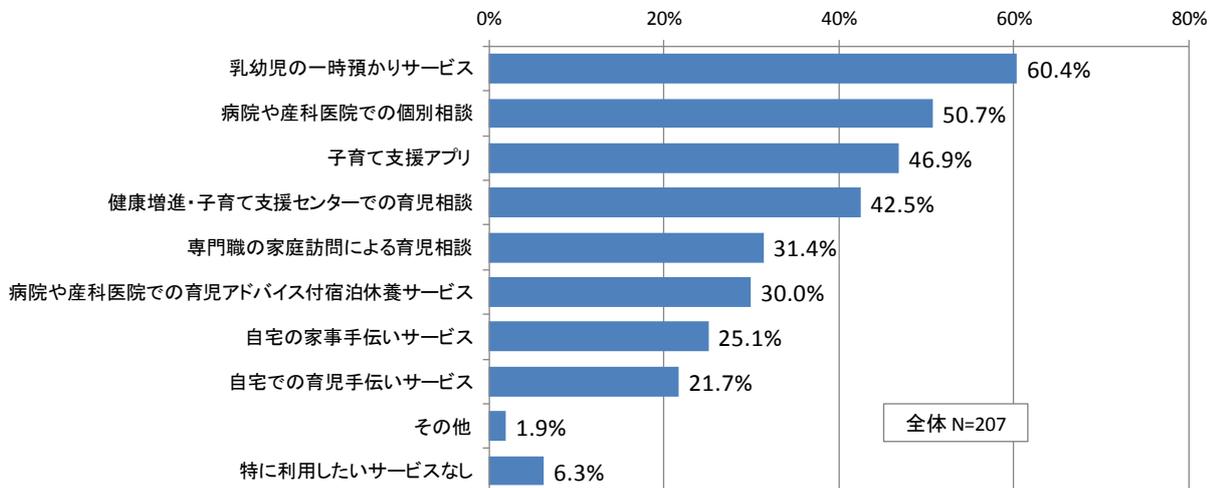
⇒「継続して実施するべき」が最も多く 58.5%、「事業内容を見直した方がよい」が 19.5%で次に多く、「わからない」が三番目に多く 18.0%となっている。



(5) 母子保健事業について

〈産後のサービスとして利用したいと思うものはありますか。(複数回答可)〉

⇒「乳幼児の一時預かりサービス」が最も多く 60.4%、「病院や産科医院での個別相談」が 50.7%で次に多く、「子育て支援アプリ」が三番目に多く 46.9%となっている。



(6) 成人保健（がん検診）事業について

〈市から送付した「がん検診無料クーポン券」は、がん検診を受けるきっかけになりましたか〉

⇒「受診を迷っていたが無料券が届いたので受診した」が最も多く 36.1%、「受けるつもりはなかったが無料券が届いたので受診した」が 35.1%と次に多かった。合わせると、受診者のうち7割の方が検診の無料クーポン券が受診の動機となっている。

